

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		作成日	R8.4.1
組織名(部)	市民病院	組織名 (準部・課・機関名)	経営企画課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標				主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	健全経営を取り戻すため、収支改善計画を実行し、赤字経営からの脱却を目指します。	行財2-1-①	入院単価	92,300円		・入院単価向上に係る改善施策の推進	外部コンサルタントを活用し、収支改善計画に掲げた収入増加・確保対策のうち入院単価向上に係る改善施策を重点的に推進します。			
2	経営改善に向け、職員の意識を高めるため院内での情報発信を強化します。	行財2-1-①	経営改善に係る院内向け情報発信回数	12回		・経営改善に係る院内向け情報発信	毎月、経営改善に関する取組のトピックや患者数等の経営指標や収益の状況を院内ポータル及びペーパー(回覧)により市民病院の全職員にわかりやすく周知します。			
3	経理業務の効率化に向け、デジタル化を推進するため財務会計システムにおけるAIやRPAの導入を検討します。	行財2-1-①	財務会計システムにおけるAIやRPAの導入検討	検討資料作成		財務会計システムにおけるAIやRPAの導入検討	財務会計システムにおけるAIやRPA導入の可否を判断するため、情報収集を行い、導入に係るメリット・デメリットや費用等の課題を明らかにします。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		作成日	R8.5.12
組織名(部)	市民病院事務局	組織名 (準部・課・機関名)	管理課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	医師の働き方改革を推進します。	行財1-4-②	働き方改革に関する制度の周知徹底と取組みの啓発	年4回以上		医師の超過勤務時間削減等負担軽減	令和6年4月より開始された医師の時間外労働時間規制に関し、医師の負担軽減に資するため医師の異動時期を中心に、制度の周知徹底と院内取組みの啓発を図ります。		
2	病院の施設整備を通じて、提供できる医療の高度化や、災害拠点病院として安心・安全の基盤強化に努めます。	行財2-2-②	コージェネレーション設備の更新	コージェネ設備更新工事の完了		コージェネレーション設備更新事業	平常時の電力の一部を賄うとともに非常用電源でもあるコージェネ設備を更新し、災害時の基盤強化を図ります。		
3	持続可能な事務局組織について、改編を踏まえた検討を行うとともに、社会情勢の変化に対応できる職員の育成を行います。	行財1-2-①	事務局組織体制の見直し	事務局内の業務配置の見直しを実施		事務局組織体制の見直し	病院経営を戦略的に行うための問題点や諸課題を洗い出し、業務配置の見直しを実施します。		
		行財1-4-①	若手職員を中心としたプロパー事務職の人事異動の実施	プロパー事務職の人事異動の実施		新潟市民病院人材育成基本方針に基づく、プロパー事務職の人事異動の実施	経営的な視点のもと病院の諸課題に対応できる事務系医療総合職を育成するため、若手を中心としたプロパー事務職の計画的な人事異動を実施します。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		作成日	R8.5.1
組織名(部)	市民病院	組織名 (準部・課・機関名)	医事課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	未収金の発生防止と適切な徴収を実施し、診療費の未収金を縮減します。	行財2-2-①	診療費(個人分)の 収納率 (収入済額/調定額)	88.5%		・督促状、催告書の送付 ・電話催告の拡充、初期対応強化 ・未収金対策定例会議の開催 ・納付相談の実施 ・徴収員による訪問徴収の強化 ・退院時会計実施率の向上 ・無保険患者への早期対応			
2	院内他部門及び医事業務委託業者と連携を深め、当院の診療機能に見合った適切な施設基準を取得し、収益の増加につなげます。	行財2-2-①	新規施設基準取得 による増収	15項目		・当院の診療機能に見合った最適な施設基準の取得 ・施設基準・運用遵守確認 ・当院職員の各種研修会参加状況確認 ・診療実績の把握			
3	医療情報システムの安定稼働、利便性向上を推進し、質を向上させます。	—	改善項目達成率	90%		・医療情報システムの安定稼働への取り組み ・医療情報システムの利便性向上への取り組み			
4	国が推し進める医療DX政策をタイムリーに実現します。 生成AI、RPAなどのデジタル技術を用いて業務DXを推し進め、増収/工数削減を実現します。 国の補助金を活用し、医師向けスマートフォン、チャットシステム、タブレット、音声入力アプリの導入を目指します。	行財1-3-②	業務改善取り組み 件数 新規削減工数(時間)	20件 600時間		・電子処方箋運用開始 ・電子カルテ情報共有サービス導入 ・DX推進検討委員会運営 ・業務改善策の提案と技術支援 ・生成AI、RPAなどを用いた業務負担軽減 ・医療安全向上支援 ・加算取得支援 ・各種情報、指標の可視化支援 ・各種ツール開発 ・各種デジタル技術の情報収集 ・医師向けスマートフォン導入 ・チャットシステム導入 ・タブレット導入 ・音声アプリ導入			